

1. 情報と娯楽を扱う産業の発達

- (1) 資料Ⅰで示された産業は、第何次産業に分類されるだろうか。

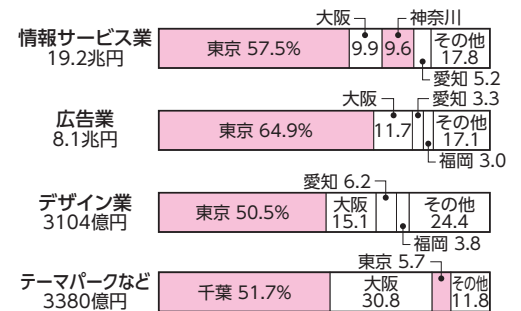
第3次産業

- (2) 資料Ⅰで関東地方の都県に赤色を塗ろう。

- (3) 大都市圏でこのような産業が盛んな理由を考えてみよう。

(例) 人口が多く消費活動が盛んなほか、世界中から多様な人材や情報が集まりやすいため。

資料Ⅰ サービス業の年間売上額



2. 活発な消費活動を支える産業

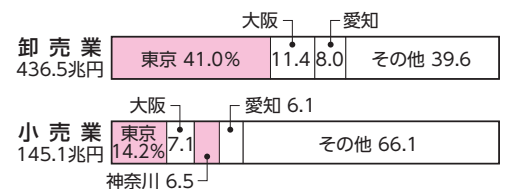
- (1) 資料Ⅱで関東地方の都県に赤色を塗ろう。

- (2) 卸売業と小売業について下の表にまとめてみよう。

小売業 コンビニエンスストアやデパートのような小売店で、(消費者)に直接商品を販売する業種。

卸売業 (小売店)に商品を販売する業種。

資料Ⅱ 卸売業と小売業における年間商業販売額



卸売業と小売業を合わせて(商業)という。

- (3) 資料Ⅲは商業施設と物流拠点の分布の地図です。

- ① アウトレットモールや大型ショッピングセンターは、どのような場所に立地しているだろうか。

アウトレットモール	(例) 高速道路の沿線
大型ショッピングセンター	(例) 都心や鉄道の沿線

- ② 大型ショッピングセンターが進出した地域には、どのような変化や課題がみられるだろうか。

(例) 周辺の古い商店街の中には、客足が減少した商店街もある。

資料Ⅲ



本時のまとめ

◆ サービス業や商業が発達する理由を、人口の集中と関連させながら説明しよう。

(例) サービス業は、情報・技術や独創性をもつ人が集まる東京を中心に発達し、多くの人が集まるイベントなども交通が便利なことからの地域で発達している。また、商業は、交通網が発達し、多くの人や物が集まる地域で発達するため。